

# 言葉は1つ、体は双つ

私たちはきょうだい。双子、あるいは三つ子。

家族という狭い共同体の中で、同じ日付に生まれ、血の繋がった、さらに狭い関係。

誰よりも近い存在と言える私たちは互いに影響を受け合い続けることになりました。良いか悪いかはともかく。

## 〔TIPS〕

このバックドロップは、2人から3人でのプレイを想定しています。2人の場合、ダイアレクトの推奨人数よりも少なくなり、作成される言葉が大きく減るかもしれません。プレイヤーに余裕がある場合は、2人分の役割を1人でこなしてください。アーキタイプを一人につき6枚配りその中から1枚選んだり、言語デッキのカードを6枚配ったり、1時代を2周するのも良いでしょう。

## 〔アспект生成質問〕

- **せかい。** 私たちきょうだいを取り巻く家庭はどのようなものでしょうか。親や近所の友達、国など、もしくは私たちきょうだいそのものが、何か特徴のある環境をしているのでしょうか。
- **ひそひそ。** 私たちが同じ日に生まれたという事実は、私たちの日常にどのような影響を与えましたか？
- **〔自由アспект〕。** 好きに決めてください。

## 〔共同体への質問〕

- 私たちの見た目はそっくりですか？ それとも似ていませんか？ それは私たちにどのような影響を与えましたか？
- 私たちだけで話すための、親すらも入れない空間はありますか？ どのようなところですか？ 無いのであれば、その理由は何でしょうか。
- 私たちを取り巻く環境（アспект1）に対して、私たちはそれをどのように受け入れていますか？
- きょうだいの絆に最も執着している人はいますか？ また、最も嫌悪している人はいますか？
- 私たちきょうだいの中の力は偏ってますか？ それとも拮抗していますか？

## 名前

リュカ、クラウス、勝也、達也、ゆうた、ひなた、ヒナタ、カナタ、キキ、ララ、リン、レン、亜衣、真衣、美衣

## 〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を（黒い左欄か、赤い右欄か）選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。〔アイソレーション〕の終わりを予感させる出来事。それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

私たちきょうだいは互いに成長します。お互いを自分の一部のように思っていました。昔は誰よりも近しく感じたきょうだいは、しかし他人なんだと痛感する出来事が起きます。それはなんですか？

私たちきょうだいは何も変わっていません。けれども、きょうだい以外の環境は変わっていきます。私たちにとってより過酷で、過ごしづらい環境へ。私たちは以前よりも強く身を寄せ合おうと思うでしょう。

〔時代〕3へと移る。予期されていたことが起きてしまう。

〔アイソレーション〕の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

成長するにつれ、きょうだい以外の居場所を見つめます。きょうだいとの関わりを減らそうとするのは私たちの中の誰ですか？ また、それを引き止めようとするのは私たちの中の誰ですか？

私たちきょうだいはこの場所に留まれなくなりました。それは両親の保護下、もしくは国など、とにかく今までいた場所から去らなくてはなりません。生活の為に外部と関わりを持つのは私たちの中の誰でしょうか。きょうだいの中により閉じこもってしまうのは私たちの中の誰でしょうか。

〔遣されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

お互い、きょうだい以外の居場所でうまく生きています。私たちの中には、結婚などをして私たち以外の「家族」を持つ人もいるかもしれません。それでも血縁であることには変わりませんが、いずれにせよ、私たちきょうだいは最早お互いだけが世界ではないのです。疎遠になった後、家族の集まりで久しぶりに再開した時、なんと言葉をかけますか？

ついに限界が来ます。私たちは、生活を続けていくことができなくなりました。あの世へと追いやられるとしても、私たちきょうだいは強い絆で結ばれていると信じるものは私たちの中の誰ですか？ 私たちは、最期にお互い、なんと声をかけますか？

アツメ

本文

鮎方高明

編集

アツメ

表紙

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。  
『ダイアレクト』について興味がある方は、[harrowhill.rdy.jp](http://harrowhill.rdy.jp)をご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コ  
モンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This backdrop and the covrart is copyright 2023 by Atsume, X fka twitter,  
id: 2D6\_7. *Dialect* is copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are  
reserved. Japanese translation published by arrangement with Thorny  
Games Publication. © 2020 by Harrow Hill.



# 言葉は1つ、 体は双つ



ダイアレクトバックドロップ  
by アツメ